



平成二十五年九月二十七日、旧大谷公会堂の具体的活用例を、移転後を展望して、やや羅列的になりましたが、提言しました。

宇都宮市長へ 要望書その六を提出する

NPO法人 大谷石研究会
理事長 小野口順久

- 一、集会場としての活用
旧城山村当時と同様に、多目的ホールとしての活用、具体的には
(一)第二地区センターとしての活用
(二)各種催事の会場
(三)地元アーティストを中心にしたギャラリー
(四)大谷・多気地区の観光案内所の設置
- (五)文化講演、各種学習の場
- 二、大谷石産業の振興
(一)大谷石の新製品等の情報の発信基地
(二)大谷石産業の歴史、資料の保存展示
(三)優れた大谷石建造物の写真の展示など
(四)定期的に石にふれあうワークショップの開催など
- 三、観光の振興
(一)旧大谷公会堂それ自体が国登録有形文化財として、優れた観光資源であること
(二)観光の振興のための催事会場
(三)写真の展示や案内解説など
(四)観光案内ボランティアの育成、教育会場
- 四、今後の維持管理
(一)日常的維持管理

大谷観光案内所

大谷石 東西南北

各地で活躍するライバル

(NPO法人 大谷石研究会広報担当 平沼 隆志)

大阪市の中心部に、ダイビルという名物ビルがある。1925年に完成したネオロマネスク様式の建物で、ランドマークの一つになっていた。そのダイビルが昨年、「新ダイビル本館」として建て替えられた。

新ビルの1階ロビーに入って驚いた。黄色がかった壁に包まれた一帯に、やさしく、暖かい雰囲気漂っている。忘れもしない大谷石の雰囲気だった。うれしかった。「ここでも、大谷石が活躍している」。

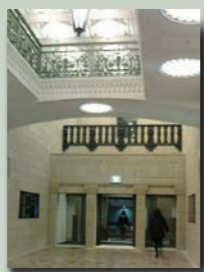


小樽の倉庫店舗

ところが、調べてみると違った。びっくりした。兵庫県高砂市で産出される黄竜山石なのだそう。全国建築石材工業会のホームページを見ると、凝灰岩というグループの中に大谷石と一緒に分類されていた。

同じような感じが、昨年6月に北海道でも味わった。運河で知られる小樽市には、旧来の倉庫、蔵を店舗などに再活用している一角がある。その建物の建材が大谷石に見えた。でも、小樽軟石、札幌軟石といわれる凝灰岩なのだそう。ネットで調べると、北海道には「札幌軟石文化を語る会」という市民グループもあった。

二つの出来事から改めて二つのことを感じた。大谷石の独特の質感、雰囲気は人々に愛されている。しかし、同じような質感、雰囲気を持つ同類が各地で利用されている。大谷石の仲間であり、ライバルでもある石材の存在を忘れてはいけない、と思う。



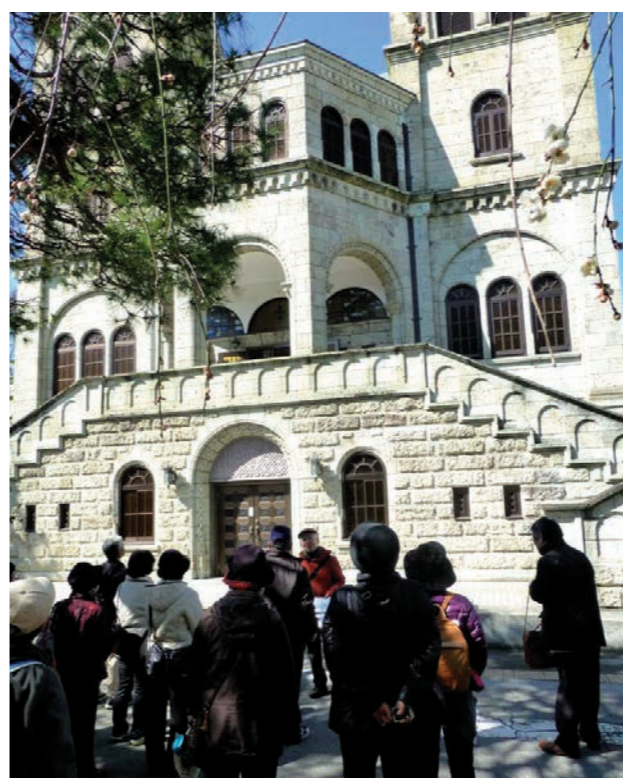
ダイビル本館ロビー

NPO法人大谷石研究会のホームページ <http://www.ooyaishi.org/>



コンテンツ盛りだくさん

大谷石研究会とは・大谷石の歴史と魅力・全国の大谷石の建造物・最近の使用例・石蔵や大谷石の活用例・大谷石の工法と保存・活動報告ブログ・会報誌(バックナンバーがダウンロードできます)



松が峰教会の正面で教会の歴史を解説

”第2回大谷を巡るバスツアー”
”石の街・うつのみや”
大谷石建築の魅力を探る！報告

NPO法人 大谷石研究会
理事 佐藤公紀

の中で、若山さんによる丁寧な説明で「誰も知らない竹の世界」を体験することができ、西根地区石蔵集落では、「こんな処があったのか」と静かに佇む石倉集落の風景に感動した様子でした。午後の大谷資料館では、地下に続く長い階段を皆さん足取り軽く上り下りをして地下空間を満喫されたようです。

最後の見学先である小野口家住宅では、小野口理事長による名調子の解説により、良く手入れされた庭や石蔵群、文化財等々に驚きを感じながら見学することができました。

参加者の感想は当ホームページに、更田理事長が報告してあります。ぜひホームページをご覧ください。



小野口邸で門から始まる小野口理事長の名調子



西根集落に残る小さな石倉



若山農業の竹林で若山さんが竹の魅力を解説

大谷石と共に170年

採掘販売事業部・石材加工事業部・砕石加工事業部
設計・施工

有限会社 高橋佑知商店

本社 宇都宮市大谷町350番地
TEL 028(652)0005(代表)
FAX 028(652)0192

暮らしにくつろぎを与えるインテリア家具・雑貨の専門店
<http://www.rakuten.co.jp/tokyointerior/>

ルーエプラッツ Ruheplatz

ルーエプラッツは東日本を中心に展開するインテリアの専門店、東京インテリアの東京デザインセンター事業部が運営するネットショップです。お客様の素敵なインテリアライフに役立つショップを目指して、主に国内メーカーの商品を中心にセレクトして運営しております。

(株) シオダ建築デザイン事務所 宇都宮市富士見が丘3-19-28
TEL 028-625-2130
FAX 028-621-0519

e-mail SKDJ@tech.email.ne.jp http://www.ne.jp/asahi/shiodarch/design/

大切にしますパートナーシップ

印刷技術がいかに進歩しようとも
技術表現の根幹は「心」であると考えます

印刷のご用命は

株式会社 新光社印刷

〒321-0811 宇都宮市大通り2-4-1番地
TEL 028-633-4718(代) FAX 028-637-3981